

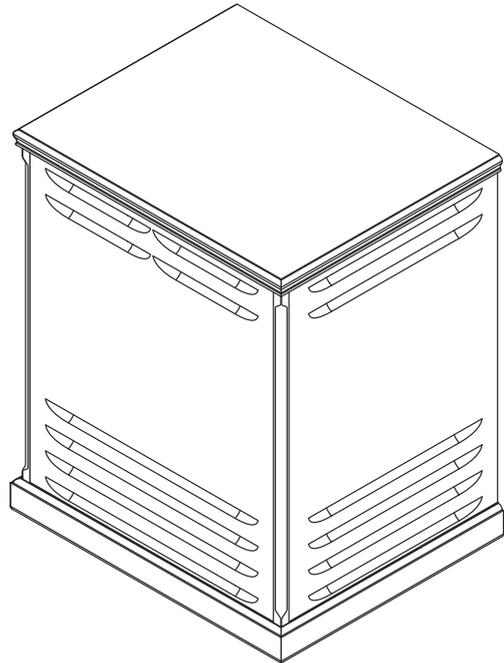
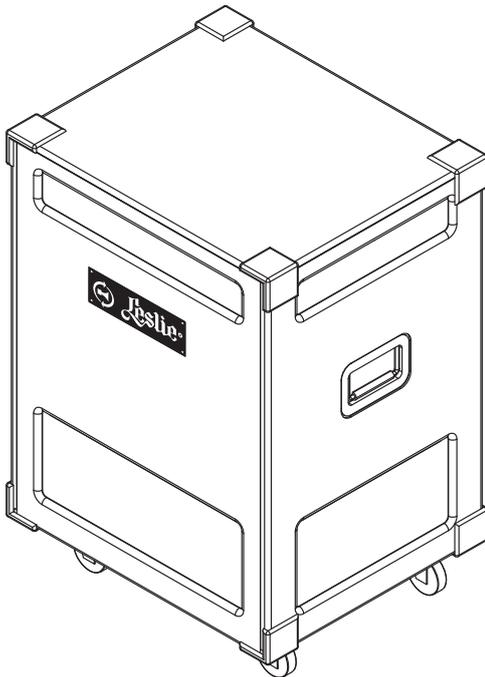
Leslie[®]
SPEAKERS

Innovative Sound Systems

この度はレスリー 3500 / 3500Wをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品を末永く、そして安全にご使用いただくため、この取扱説明書をお読みください。

お読みになった取扱説明書は、大切に保管してください。



Leslie PRO Series

Model 3500 / 3500W

取扱説明書

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになった後は、必ず保存してください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、下記の指示を必ず守ってください。
- 本書では、危険や損害の程度を次の区分で表示し、説明しています。

	警告	この表示内容が無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。
	注意	この表示内容が無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的障害が発生する可能性が想定されます。

警告



電源は必ず交流100Vでご使用ください

交流100V以外の電圧でご使用になると、火災や感電の恐れがあります。



異常を感じたら電源を切ってください

万一異臭や発熱などの異常を感じたときは、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店や各営業所にご連絡ください。

異常状態でのご使用は火災・感電の原因となります。



異物が入ったときは、電源プラグを抜いてください

製品に異物(硬貨や針金)や液体(水やジュースなど)を入れないようにしてください。

故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。

万一、異物が内部に入ったときは直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店またはスズキ各営業所にご連絡ください。



開口部分に指を入れないでください

機器の隙間や開口部分に腕や指を入れないでください。内部の回転体でケガをしたり、高温になる部分に触れてやけどをする恐れがあります。



改造・分解は危険です

改造や分解はしないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。



濡れた手で触れないでください

濡れた手で電源プラグ・コード及び本体に触れないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。



湿気の多い場所は避けてください

水分や湿気の多い場所では絶対に使用・保管しないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。



ほこりの多い場所は避けてください

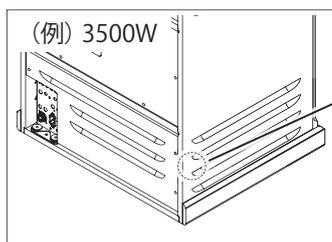
ほこりの多い場所での使用は避けてください。故障や発火の原因になることがあります。

また電源プラグにほこりが付いている場合、そのまま使用すると感電などの原因となりますので、ほこりを拭き取ってからご使用ください。



● 次のような場合はただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店または各営業所にご連絡ください。

- 電源コードやプラグが破損したとき
- 異物や液体が中に入ったとき
- 機器が雨その他で濡れたとき
- 機器に異常が発生したとき



このマークは、機器の内部に回転体が存在し、指が巻き込まれる危険があることを警告しています。

注意



熱くなる場所を避けてください

自動車の中や暖房器具のすぐ近くなど、極端に熱くなる場所での使用、保管は避けてください。変形・故障の原因になることがあります。



放熱を妨げないでください

設置時は放熱をよくするために、背面と壁や他の機器との間に20cm以上の隙間をあけてください。放熱が不十分だと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



衝撃を与えないでください

製品をぶつかけたり、落としたりしないでください。製品に傷を付けるだけでなく故障の原因になります。



製品の上に乗ったり、重いものを乗せたりしないでください

製品が破損する原因にもなりますし、製品が転倒したりしてお客様がケガをする危険性があります。



不安定な場所に置かないでください

製品を不安定な場所に置かないでください。転倒・落下して、お客様がケガをする危険性があります。



移動の際には接続ケーブルをすべて外してください

移動させるときは電源プラグ、接続ケーブルはすべて外してください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



使わないときは電源プラグを抜いてください

ご使用の後は電源スイッチを切ってください。長時間使用しないときや落雷の恐れがある場合は、製品保護のためコンセントから電源プラグを抜いてください。



コードは引っ張らないでください

電源コードの上に物を置いたり、引っ張ったりしないでください。

また電源プラグをコンセントから抜くときは電源コードではなく、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。電源コードが傷つき、感電などの原因になり大変危険です。



お手入れは柔らかい布で

お手入れは柔らかい布で拭きしてください。アルコール・シンナー・ベンジン等は製品を傷めますので絶対に使用しないでください。



接続時は電源を切って

各機器との接続時は、接続するすべて機器の電源を切ってください。それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のコードを使用して接続してください。

電源を入れる前に音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害を引き起こす恐れがあります。



歪ませないで

スピーカーユニットに過大な入力に加え、音が歪んだ状態では使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



大音量に注意

不快に感じるような大音量では、使用しないでください。この機器は大音量での使用により、聴覚障害を引き起こす恐れがあります。

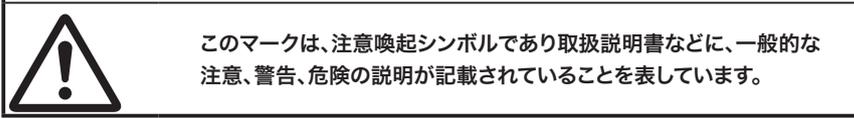
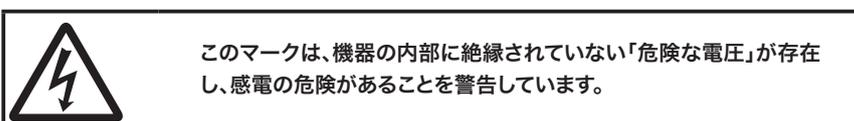


アースは確実に取り付けて

電源のアースを確実に取り付けてください。感電の恐れがあります。



注意：感電の恐れありキャビネットをあけるな
ATTENTION: RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE NE PAS OUVRIR
WARNING:
TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK,
DO NOT EXPOSE THIS APPLIANCE TO RAIN OR MOISTURE.



安全上のご注意.....	16
目次.....	18
本機の特長.....	18
仕様.....	19
ブロックダイアグラム.....	19
各部の名称とはたらき.....	20
背面.....	20
メイン・コントロール・パネル.....	20
接続例と初期設定.....	22
11ピンレスリー端子付きオルガン.....	22
ライン出力ジャックを持つ楽器.....	22
11ピン、3チャンネルのレスリー端子付きオルガン.....	23
サブウーファーを接続して低音を補強する.....	23
電源に関する注意.....	23
電源を入れる.....	24
基本的な手順.....	24
11-PIN POWER REMOTE機能(レスリー11-PIN 端子を持つオルガン限定).....	25
保護回路.....	25
音質を調節する.....	26
OVERDRIVE.....	26
EQUALIZER.....	26
HORN LEVEL.....	26
アフターサービスについて.....	27

本機の特長

- ・ 本機は1チャンネル、2ローター、3モードのロータリー・トーン・キャビネットです。ロー・ローター用には38cm ハイパワー・スピーカー、ホーン・ローター用には高磁力なネオジム・マグネットを搭載したホーン・ドライバーを使用しています。内蔵された総合300W(ロー220W、ホーン80W)のハイパワー・アンプとのコンビネーションで厚みのある力強いサウンドを実現しています。
- ・ トランジスター・プッシュプル・アンプを搭載。パワーアンプやスピーカーを過負荷にすることなく、音量にかかわらずお好みのオーバードライブ・サウンドが得られます。
スイッチの切り替えで歪みのないサウンドも得られます。
- ・ 3バンドのイコライザーとホーンレベルにより、きめ細かい音質調整が行えます。
- ・ サブウーファー出力やパラレル出力として使用できる、周波数可変のベースアウト端子を装備しています。
- ・ スタンダードな11ピンソケットに加えてフォンジャックの2種類の入力端子を装備しています。
- ・ 11ピンソケットに3チャンネル仕様のオルガンを接続した場合にステーションリー音声を取り出せる、ステーションリー・アウト端子を装備しています。
- ・ ブラシレスDCサーボ・モーターを採用。電源周波数や電圧変動の影響を受けず、さらにローターの回転立ち上がり、立ち下がり、回転数をお好みにより調節することができます。
- ・ ローターのモードを切り替えられる、ノーマリー・オープン(FS-9H等)またはラッチ式(FS-10TL等)の製品に対応した、フット・スイッチ端子を装備しています。

形式

1チャンネル (ロータリー・チャンネル)
2ローター

パワーアンプ出力

ホーン

80 W RMS

ロー

220 W RMS

スピーカー

ホーン

コンプレッション・ドライバー

ロー

38cm ウーファー

コントロール

ボリューム

VOLUME, HORN LEVEL

オーバードライブ

ON/OFF, GAIN

イコライザー

BASS, MIDDLE, TREBLE

電源

POWER, 11-PIN POWER REMOTE

ローター・アジャスト

RISE TIME, FALL TIME, SLOW SPEED, FAST SPEED
(各ホーン/ロー・ローター)

モーター

ブラシレスDCサーボモーター × 2

インジケータ

POWER, STANDBY, モード (SLOW, STOP, FAST)

接続端子

11ピン端子 (ステーションリー・アウト・ジャック付き)
ロータリー・インプット (10k Ω 、-18dBu)
フット・スイッチ (タイプ切り替え付き)
ベース・アウト (周波数可変、0dBu)
ACインレット

定格消費電力

105 W

寸法

3500

W 62.6 x D 52.5 x H 89.9 cm

3500W

W 64.5 x D 53.0 x H 79.4 cm

重量

3500

53.4 kg

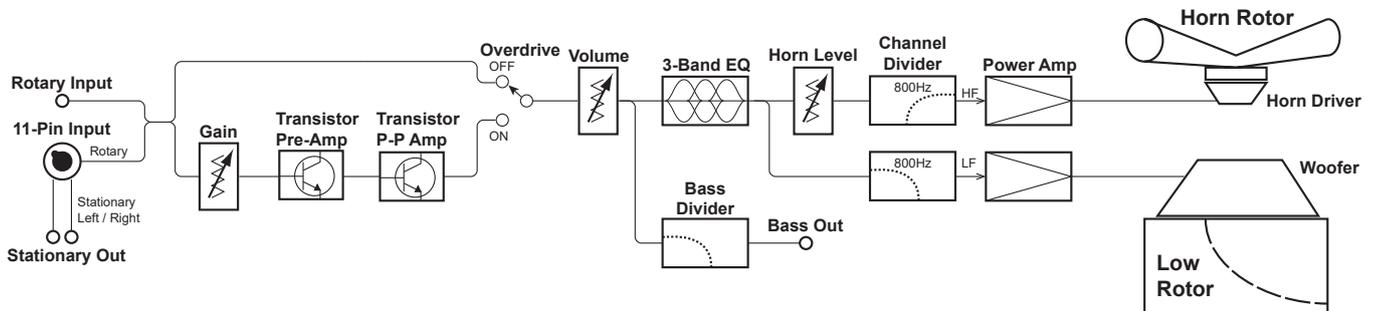
3500W

50.4 kg

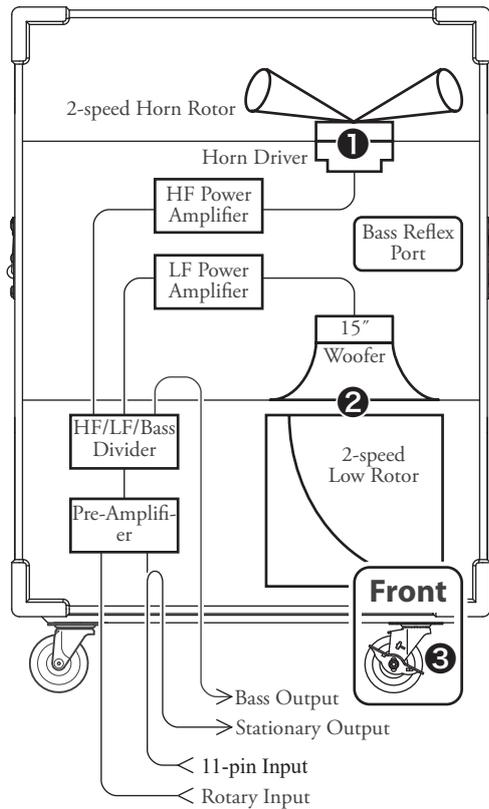
別売品

11ピン・レスリーケーブル LC11-7M
フット・スイッチ FS-9H
フット・スイッチ FS-10TL

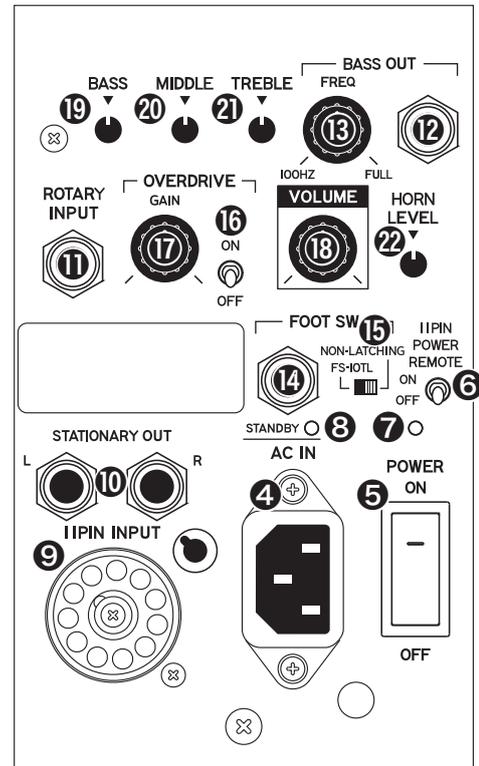
ブロックダイアグラム



内部構造



メイン・コントロール・パネル



背面

- ① ホーン・ドライバー／ホーン・ローター
高音(約800Hz以上)を鳴らします。
- ② ウーファー／ロー・ローター
低音(約800Hz以下)を鳴らします。
- ③ キャスター(前面、3500のみ)
移動用のキャスターです。本機のご使用時には前2輪をロック(ONを押す)してください。



設置は、凹凸のない平らな床に行ってください。

メイン・コントロール・パネル

電源

- ④ ACインレット
付属の電源コードを接続します。
- ⑤ POWERスイッチ
本機の電源をオン/オフします。

- ⑥ 11PIN POWER REMOTEスイッチ (p.11)
⑨11PIN INPUT端子に接続したオルガンの電源スイッチによって本機の電源オン/待機を可能にするスイッチです。
NOTE: 11PIN INPUT端子を使わないときは、このスイッチをOFFに設定してください。このスイッチがONになっていると、本機の電源を「オン」にできません。
- ⑦ POWERランプ (p.10)
本機の電源の状態を表します。
点灯 電源が「オン」の状態
消灯 電源が「オフ」の状態
- ⑧ STANDBYランプ (p.11)
以下の状況で点灯します。
 - ・ 11PIN POWER REMOTEでの待機状態。
 - ・ 何らかの異常により、音声を停止している場合。

音声入力/出力

- ⑨ 11PIN INPUT 端子 (p.8)
レスリー11ピン端子を備えたオルガンを接続するための入力端子です。
- ⑩ STATIONARY(L)(R)ジャック (p.9)
レスリー11ピン端子から入力されたステーションナリー音声を、外部の音響機器へ出力します。
- ⑪ ROTARY INPUTジャック (p.8)
ラインレベルの出力ジャックを持つ楽器を、モノラル標準フォンケーブルを使って接続するための音声入力ジャックです。

12 BASS OUTジャック (p.9)

ロータリー・チャンネルの音声を出力します。

BASS OUT FREQつまみ13の設定によって、パワー・サブウーファー用の低音や、パラレル出力としても使用できます。

13 BASS OUT FREQつまみ (p.9)

BASS OUTジャック12に出力する周波数帯域を調節します。

最小位置では約100Hz以下の低音のみが、最大位置ではほぼ平坦な特性で出力されます。

フット・スイッチ

14 FOOT SWジャック (p.8)

フットスイッチを接続します。

本機のローターの回転モードをフットスイッチFS-9HまたはFS-10TL(別売)を使って切り替える場合に使用します。

NOTE: このジャックはROTARY INPUTジャックに楽器を接続するときのみ使用してください。本機に11PIN INPUT端子を介して楽器を接続する場合は、このジャックにフットスイッチを接続しないでください。

以下のフットスイッチ(別売)を接続できます。

- FS-9H(アンラッチ、ノーマルオープン・タイプのフット・スイッチ)または同等品
- FS-10TL: Leslieの専用フットスイッチ。

15 FOOT SW TYPEスイッチ (p.8)

使用するフットスイッチを選択するスイッチです。

NON-LATCHING

.....Hammond FS-9Hや同等品(アンラッチ、ノーマルオープン・タイプ)を使用します。スイッチを短く踏むとスローとファーストが切り替わり、長く(1.5秒以上)踏むとストップに切り替わります。

FS-10TL.....Leslie FS-10TLを使用します。

音声関連のコントロール

16 OVERDRIVEスイッチ (p.12)

オーバードライブ効果(アンプに過大入力したような歪み)をオン/オフします。

17 OVERDRIVE GAINつまみ (p.12)

オーバードライブ効果に、どれだけ過大入力させるかを設定します。

18 VOLUMEつまみ (p.10)

本機全体の音量を調節します。

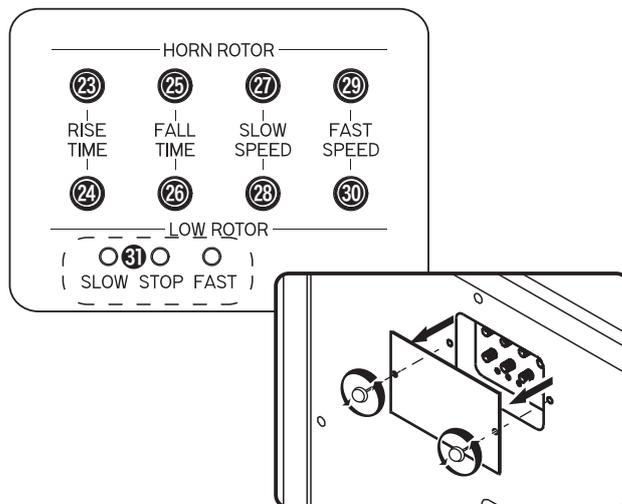
19, 20, 21 BASS, MIDDLE, TREBLEつまみ (p.12)

それぞれ、低音(約35Hz)、中音(約600Hz)、高音(約10kHz)を強調/抑制します。

22 HORN LEVELつまみ (p.12)

ホーン・ローターの音量を調節します。

ローター・コントロール・パネル



ローター・コントロール・パネルは本機の背面「銘板」の内側に搭載されています。これらのつまみで、各ローターのSLOW、FASTの回転数や、STOP/SLOWからFASTへ、またはFASTからSLOW/STOPへ変化する時間を調節できます。

23/24 RISE TIMEつまみ - HORN / LOW ローター

ローターの回転がSLOWまたはSTOPからFASTに上がりきるまでにかかる時間を調節します。時計回りに回すとかかる時間が長くなります。

25/26 FALL TIMEつまみ - HORN / LOW ローター

ローターの回転がFASTからSLOWまたはSTOPに下がりきるまでにかかる時間を調節します。時計回りに回すとかかる時間が長くなります。

27/28 SLOW SPEEDつまみ - HORN / LOW ローター

SLOWモードのローターの回転数を調節します。

29/30 FAST SPEEDつまみ - HORN / LOW ローター

FASTモードのローターの回転数を調節します。

NOTE: 初期設定の値は以下のとおりです。工場出荷時、各つまみは中央に設定されています。

	RISE TIME	FALL TIME	SLOW SPEED	FAST SPEED
HORN ROTOR	1.8[s]	2.4[s]	44[rpm]	402[rpm]
LOW ROTOR	7.0[s]	5.5[s]	42[rpm]	372[rpm]

31 ローター・モード・インジケーター

現在のローターの回転状態を表示するランプです。

NOTE: 本機の電源投入後の数秒間は、ロー・ローターのスピードに合わせてすべてのランプが点滅します。

tips ローターモード

SLOW

ローターはゆっくりと回転します(コラール)。賛美歌やクラシック音楽、ゆったりとしたテンポの曲に向いています。

STOP

ローターは回転しません。

FAST

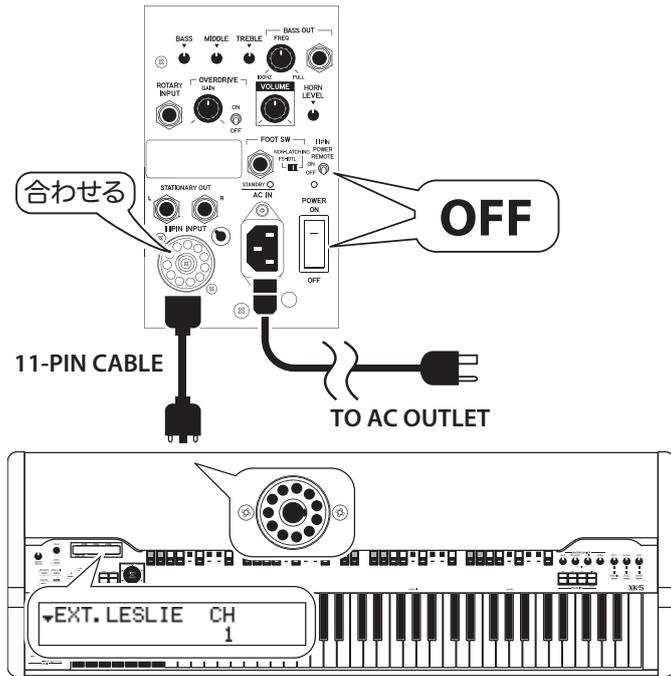
ローターは高速で回転し(トレモロ)、拡散された音が空間を満たします。

接続例と初期設定

以下の接続例の手順に従って、外部機器の接続やスイッチの操作を行ってください。

NOTE: 接続は、必ず本機および接続する楽器の電源を切った状態で行ってください。

11ピンレスリー端子付きオルガン



ハモンド該当機種:

1チャンネル仕様のモデル

B-3 mk2, C-3 mk2, New B-3, XK-2 など

チャンネル切替が可能なモデル

SK PRO, SKX PRO, SKX, XK-5/-4/-3/-3C, A-405SP, XB-3など

手順

① 左図のように本機とオルガンを接続します。

使用するケーブル

11PINレスリーケーブルLC11-7M(別売)

NOTE: 11PINレスリーケーブル LC11Y-7M(別売)を使って、オルガンを本機2台に接続することもできます。

NOTE: 誤動作を防ぐため、この接続を行う際は、左図に記載されていないケーブルや機器は接続しないでください。

② [11-PIN POWER REMOTE]スイッチを「OFF」にします。

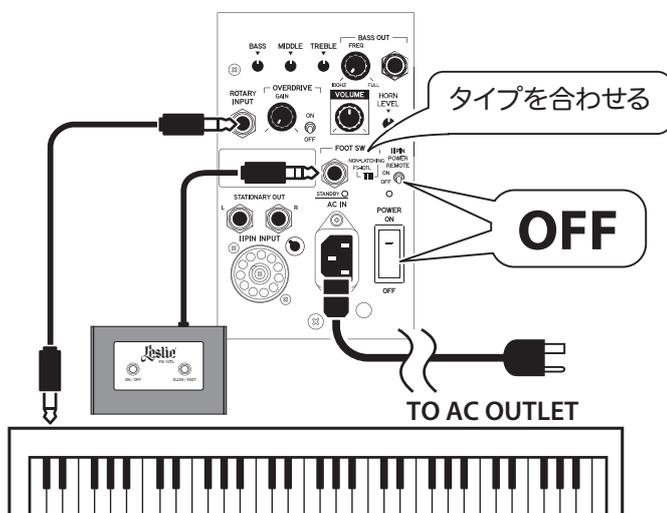
③ チャンネル切替が可能なモデルは、オルガンのレスリーチャンネルを「1」に設定します。

NOTE: レスリーチャンネルの設定方法は、各オルガンの取扱説明書を参照してください。

tips レスリーケーブル

レスリーケーブルは、楽器とレスリー・スピーカーとを接続するための音声、コントロール信号を1本にまとめた特別なケーブルです。レスリー11PIN端子のオス側には突起があり、それをメス側の溝に合わせて挿入します。

ライン出力ジャックを持つ楽器



手順

① 左図のように本機と楽器を接続します。

使用するケーブル

モノラル標準フォーンケーブル(別売)

② [11-PIN POWER REMOTE]スイッチを「OFF」にします。

③ フット・スイッチFS-9H(別売)、またはFS-10TL(別売)を本機の[FOOT SW]ジャックに接続します。

NOTE: 本機単独ではローターモードを切り替えることはできません。ローターモードを切り替えるため、フット・スイッチを接続する必要があります。

④ [FOOT SW TYPE]スイッチを操作し、接続したフット・スイッチを選択します。

NON-LATCHING

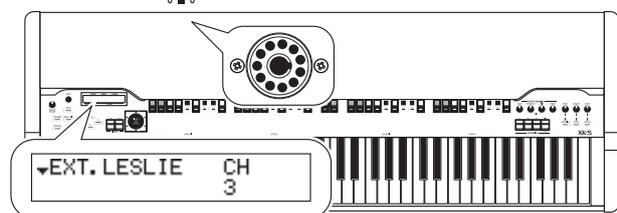
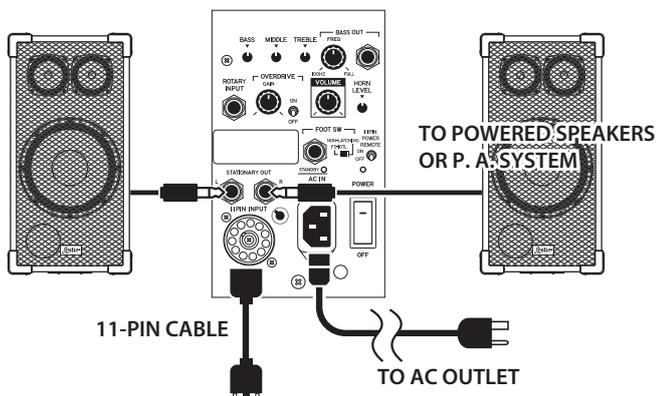
Hammond FS-9Hや同等品(アンラッチ、ノーマルオープンタイプ)を使用します。

FS-10TL

Leslie FS-10TLを使用します。

NOTE: ローターシミュレーターを内蔵した楽器を接続する場合は、その機能を「OFF」にしてください。

11ピン、3チャンネルのレスリー端子付きオルガン



オルガンが3チャンネル仕様の場合、本機を通じてステーションナリー・チャンネル(バイパスしたトーンホイール・オルガン、パイプ・オルガン、ピアノ、AUX IN等)を外部のパワード・スピーカーやPAシステムへ送ることができます。

ハモンド該当機種:

3チャンネル仕様のモデル

XT-100, XH-200, XE-1など

チャンネル切替が可能なモデル

SK PRO, SKX PRO, SKX, XK-5/-4/-3/-3C, A-405SP, XB-3など

手順

① 左図のように本機とオルガンを接続します。

使用するケーブル

11PINレスリーケーブルLC11-7M(別売)

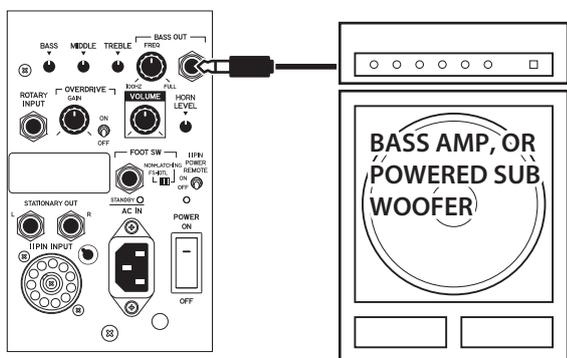
NOTE: 誤動作を防ぐため、この接続を行う際は、左図に記載されていないケーブルや機器は接続しないでください。

② [11-PIN POWER REMOTE]スイッチを「OFF」にします。

③ チャンネル切替が可能なモデルは、オルガンのレスリーチャンネルを「1」に設定します。

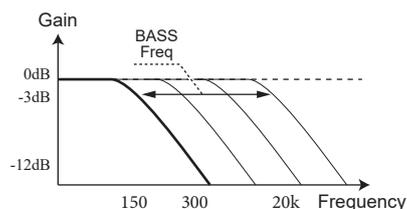
NOTE: レスリーチャンネルの設定方法は、各オルガンの取扱説明書を参照してください。

サブウーファーを接続して低音を補強する

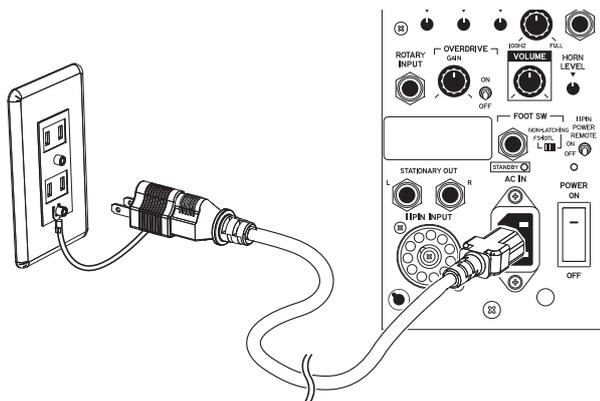


低音を補強するには、[BASS OUT] ジャックにベースアンプやパワード・サブウーファーを接続します。

本機とベースアンプ、それぞれの鳴る帯域が干渉せず、お互いを補い合う関係になるように [FREQ] つまみを設定します(下図参照)。



電源に関する注意



⚠️ 注意

本機を直射日光や炎の当たる場所、高温になる場所に設置しないでください。

⚠️ 注意

ACコードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属のACコードを他の製品に使用しないでください。

⚡ 注意

この製品は、アース線の使用を前提として設計されています。感電と機器の損傷を防ぐため、ACコードにはアース端子が付いています。ACコンセントにプラグを差し込むときには、アース端子を接続してください。

接続方法が分からない場合は、最寄りの鈴木楽器販売へご相談ください。

[POWER]スイッチがOFFの状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときは必ずACコードを電源コンセントから抜いてください。

電源を入れる

接続が完了したら、以下の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカー等の破損を生じることがあります。

基本的な手順

手順

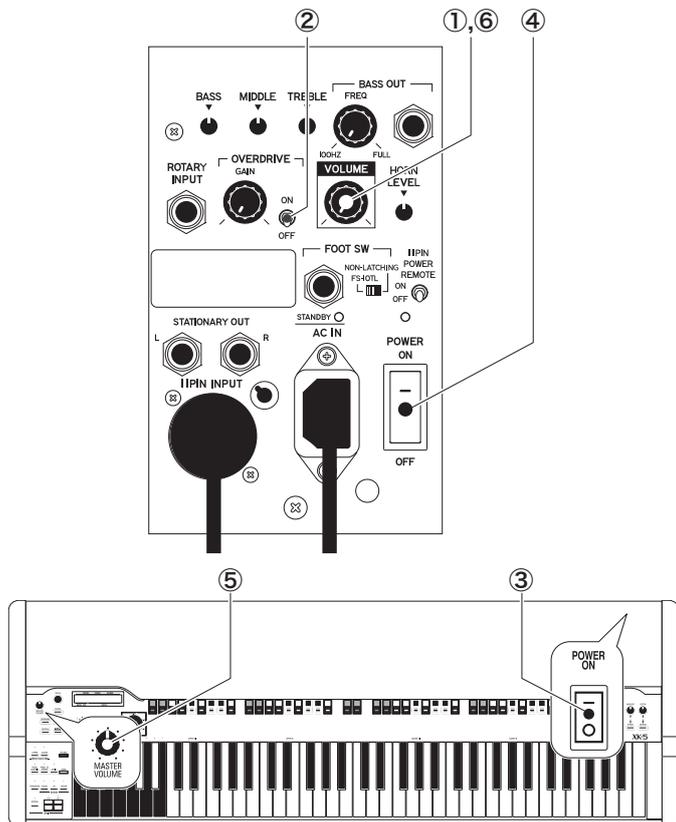
- ① 本機の[VOLUME]つまみを最小にします(突然の大音量やポップノイズを予防するため)。
- ② [OVERDRIVE]スイッチを「OFF」に設定します(歪まない状態での音量を調整するため)。
- ③ 接続した楽器の電源を入れます。
- ④ 本機の[POWER]スイッチを「ON」にします。
 - ・本機の電源が入り、ローターが自動的に回転を始めます。
 - ・6秒後にリリーススイッチ/フットスイッチの設定に応じた回転状態に変わります。

- ⑤ 楽器の音量を通常演奏する値(中央～やや高め)に設定します。
- ⑥ 楽器の音を出しながら、本機の[VOLUME]つまみを調節します。

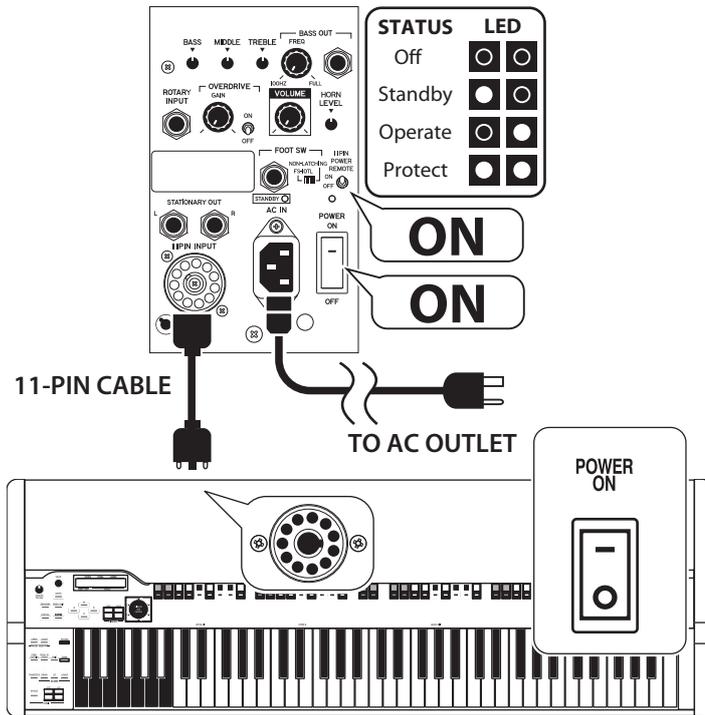
⚠ 注意

[VOLUME]つまみは本機の音が歪まないように適度な量に調節してください。スピーカーへの過度な入力の本機の重大な故障の原因となり、保証の対象外となります。

- ⑦ 楽器のリリーススイッチや本機に接続したフットスイッチを操作して、SLOW、FAST、STOPの切替が正常に行えるかを確認します。



11-PIN POWER REMOTE機能 (レスリー11-PIN 端子を持つオルガン限定)



レスリー11ピン端子搭載のオルガンを接続している場合、接続した楽器の電源スイッチ操作によって、本機の電源をONにすることもできます(11-PIN POWER REMOTE機能)。

NOTE: この機能はレスリー11ピン端子を搭載しない機器では使用できません。

手順

- ① 本機とオルガンの電源が「オフ」になっていることを確認します。
- ② 本機とオルガンを11ピンレスリーケーブルLC11-7M(別売)で接続します。
- ③ [11-PIN POWER REMOTE]スイッチを「ON」にします。
- ④ 本機の[POWER]スイッチを「ON」にします。
 - ・STANDBYランプが点灯し、本機の電源がスタンバイモードになったことを示します。
- ⑤ 接続したオルガンの電源を入れます。
 - ・本機とオルガン両方の電源がONになり、本機のPOWERランプが点灯します。

NOTE: オルガンの電源を切ると、本機の電源はスタンバイモードに戻り、STANDBYランプが点灯します。

NOTE: 本機のスタンバイモードで[POWER]スイッチを「OFF」にした後ACコードを引き抜いても、[STANDBY]ランプは30秒程度点灯し続けます。これは内部に電荷が残っているためであり、故障ではありません。

NOTE: 特殊な条件下ではPOWERランプが点灯するにも関わらずローターが回転しないことがあります。このような場合には、[11-PIN POWER REMOTE]スイッチを一旦「OFF」し、再び「ON」にしてください。

保護回路

本機の使用中に何らかの異常(下記参照)が発生した場合、回路を保護するために内蔵アンペアランプが停止し、STANDBYランプが点灯します。

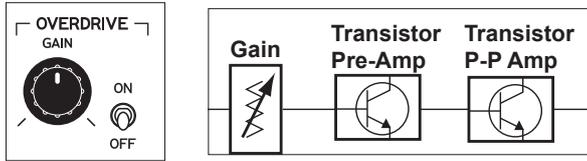
- ・ 過電流
- ・ 過熱
- ・ スピーカー出力に直流電圧が発生
- ・ 電源電圧が低下

このような場合は、本機の[POWER]スイッチを一旦「OFF」にし、1分程度待ってから再び「ON」にしてください。

それでも症状が解消されない場合は、当社営業所へご相談ください。

音質を調節する

オーバードライブ OVERDRIVE

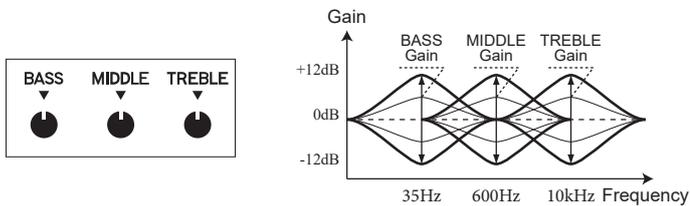


「オーバードライブ」は、音声信号をトランジスタ・プッシュプル・アンプに過大入力することで歪んだ音色を得られる効果です。

オーバードライブを使うには、[OVERDRIVE] スイッチを「ON」にし、[OVERDRIVE GAIN] つまみを必要な歪みが得られる位置に設定します。

オーバードライブを使った結果、不必要に音量が上がってしまった場合は、[VOLUME] つまみを適正な音量が得られる位置まで下げてください。

イコライザ EQUALIZER



本機の3バンド・イコライザは、音声の周波数BASS(低音)、MIDDLE(中音)、TREBLE(高音)の3バンドに分けてそれぞれをブースト(強調)/カット(抑制)します。

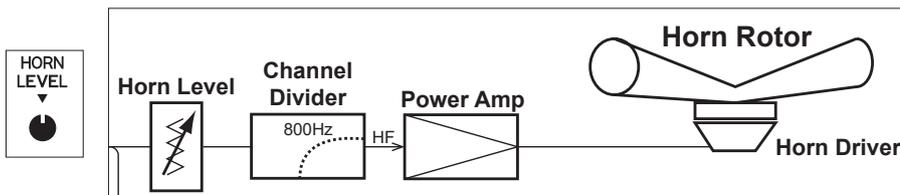
つまみの中央クリック位置が、そのバンドを強調/抑制しない状態です。

BASS..... ペダルパートやベースラインを支える低音を調節します。

MIDDLE..... コードやメロディの「音色」である中音を調節します。

TREBLE..... トーンホイール・オルガンのリーケージ・トーンやキー・クリックといった高音を調節します。

ホーンレベル HORN LEVEL



ホーン・ドライバーの音量を調節します。

これはホーン・ローターとロー・ローターの音量をバランスさせるために使います。

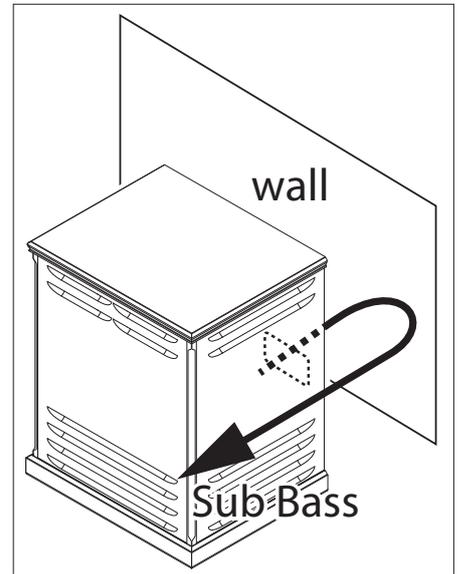
つまみの中央クリック位置が、標準的な音量が得られる設定です。

tips プッシュプル・アンプ

音声信号には「正」と「負」の極性があります。一般的に、プリアンプはバイアス電圧を使い、1つのトランジスタで正・負の両極を増幅します。本機のプッシュプル回路はNPN型及びPNP型のトランジスタを使い、それぞれ音声信号の「正」「負」を増幅するものです。これは一般的にパワー・アンプに使われるため、それに近い歪み音を得られます。

tips バスレフ効果

バスレフ効果による豊富な低音を得るには、バスレフポート(キャビネット背面の開孔部)を壁面に向けて設置します。



tips TREBLEとHORN LEVELの違い

イコライザのTREBLEもHORN LEVELも高音域を調節しますが、方法と目的が異なります。イコライザのTREBLEはある周波数帯域のみを強調/抑制します。

HORN LEVELは約800Hz以上すべてを担当するホーン・ドライバーの音量を調節します。

この商品には保証書を添付しております。所定の事項の記入後、記載内容をご確認の上大切に保管してください。

保証期間はご購入日より1年間です。保証書の記載内容によりご購入の販売店が修理いたします。その他、詳細は保証書をご覧ください。

保証期間が切れましても、修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

アフターサービスについてご不明の場合は、ご購入の販売店またはもよりの営業所にお問い合わせください。

製造元 **株式会社 鈴木楽器製作所**

〒430-0852 静岡県浜松市中央区領家2-25-7 ☎ (053)461-2325

販売元 **鈴木楽器販売株式会社**

本社 〒430-0815 静岡県浜松市中央区都盛町157-1 ☎ (053)477-8800

総販売元 **株式会社 ハモンド・スズキ**

〒430-0852 静岡県浜松市中央区領家2-25-7 ☎ (053)462-7810

事務所移転等のため、住所・電話番号が変わる場合がございます。
最新の情報につきましては、弊社ホームページをご覧ください。

www.suzuki-music.co.jp

お問い合わせは下記まで

www.suzuki-music.co.jp/contact/



お問い合わせフォーム

